

仕 様 書

1 件名

東京 2025 世界陸上競技選手権大会における警備業務委託

2 目的

本業務は、東京 2025 世界陸上競技選手権大会において、多数の来場が見込まれる国内外からの観客及び大会関係者等全てに対して安全な環境を確保するため、競技会場等（以下「公式会場等」という。）の警備計画を策定し、警備業務を実施することを目的とする。

3 契約期間

契約確定日から令和 7 年 10 月 31 日まで

4 履行場所

委託者が指定する場所

5 入札参加資格

東京 2025 世界陸上サポーター（警備サービス）スポンサーシップ契約及び東京 2025 世界陸上競技選手権大会における警備業務委託入札説明書の 2「入札参加資格等※」に記載のとおり。

6 貸与物

委託者が受託者に提供する資料は次のとおりとする。

- (1) WORLD ATHLETICS SERIES EVENT GUIDE（世界陸上競技選手権大会の開催に当たり、開催国の組織委員会が標準的に遵守すべき事項や WA との役割分担等が記載された資料）
- (2) 警備運用計画（バージョン 1）及び警備運用計画（バージョン 2）
- (3) 警備員配置表
- (4) 最新の各会場のベニユープラン等各会場の運営にかかる資料
- (5) 競技日程等の競技運営にかかる資料
- (6) その他必要と認められる情報・資料

7 警備業務実施期間

令和 7 年 8 月 12 日から同年 9 月 27 日までを次のとおり区分して警備業務を実施する。

なお、実施にあたっては、「1.1 警備業務に従事させる警備員等の配置数及び担当業務」を参照のこと。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・令和7年8月12日から9月10日まで | バンプイン期間（大会準備期間） |
| ・同年9月11日から9月21日まで | 大会実施期間 |
| ・同年9月22日から9月27日まで | バンプアウト期間（撤収期間） |

8 前提条件

（1）大会基本情報

大会期間 : 令和7年9月13日（土曜日）から21日（日曜日）までの9日間
 競技会場 : 国立競技場
 種目数 : 49種目（男子24種目、女子24種目、男女混合1種目）
 参加選手数 : 約210か国・地域から約2,000人

（2）公式会場等

警備業務対象施設の名称及び所在地、または警備業務を行おうとする場所
 別表「公式会場等」のとおりとする。

9 業務内容

（1）警備運用計画（バージョン3）等の策定

受託者が提供する警備運用計画（バージョン1）及び同計画（バージョン2）を精緻化し、バージョン3を作成すること。

ア 関係資料の収集及び精査

委託者が提供する資料に加え、警備運用計画作成に必要な関係資料を収集し、警備運用計画に必要な諸条件を洗い出すために収集した資料の内容について精査する。

イ 各種打合せへの参加

必要に応じて委託者等との打合せに参加し助言を行うと共に、委託者からの要請に応じて資料等を作成する。

ウ 会場実査の実施

必要に応じ最新のベニュープランに基づく会場実査を実施し、大会関係機関、施設管理者等からの意見を集約し、各会場の警備運用計画に反映させる。

エ 各種課題の整理及び助言業務

- （ア） セキュリティチェックのオペレーションの課題の整理及び助言
- （イ） スクリーニングレーン数及び警備員等の配置人数の検討
- （ウ） 各会場のプランにおける課題及び解決方法の検討
- （エ） 警備体制や警備指揮所の運用に関する検討
- （オ） その他警備運用計画策定に関する課題の整理及び助言

オ 関係官公署との打合せへの出席及び説明

警備運用計画を作成するに当たって、関係する官公署との打合せに委託者とともに出席するとともに、必要に応じて内容の説明を行う。

カ 警備運用計画書等の作成

収集した資料及び知見を活かし、以下の計画書等の作成を行う。

- (ア) 各会場の警備運用計画（バージョン3）の作成
- (イ) 各会場の警備員・非警備員（ボランティア等）の配置計画の作成
- (ウ) 稼働表の作成
- (エ) 防犯設備等の配置計画
- (オ) 警備業務マニュアル
- (カ) 緊急時対応マニュアル
- (キ) セキュリティスイープマニュアル
- (ク) その他警備運用計画に関連して必要と思われる資料の作成

警備運用計画の項目のバージョンごとの比較

項目		V1	V2	V3
1. イントロダクション				
1.1	ミッションステートメント	○		
1.2	セキュリティプラン	○		
2. 概要				
2.1	公式会場	○		
2.2	セキュリティ適用日		○	
2.3	リスク分析			
	i) 国の一般的な脅威レベル		○	
	ii) 脅威の種類とイベント特定の脅威レベル		○	
	iii) 国の一般的な脅威レベル		○	
2.4	L0C の警備体制	○		
2.5	主なセキュリティ関係者	○		
3. 会場のセキュリティプラン				
3.1	競技会場			
	i) 会場に対する特定の脅威の詳細		○	◎
	ii) クライアントごとの予想参加者数		○	◎
	iii) フェーズごとの実施日		○	◎
	iv) マップ			
	ラストマイル		○	◎
	クライアントグループごとの歩行者の流れ		○	◎
	ドットプラン／アクセスポイント		○	◎
	v) セキュリティ対策と手順		○	◎
3.2	練習会場及びウォームアップ会場			
	i) 会場に対する特定の脅威の詳細		○	◎

		ii) 脅威の種類とイベント特定の脅威レベル		○	◎
		iii) フェーズごとの実施日		○	◎
		iv) マップ			
		ラストマイル		○	◎
		クライアントグループごとの歩行者の流れ		○	◎
		ドットプラン／アクセスポイント		○	◎
		v) セキュリティ対策と手順		○	◎
		3.3 ホテル		○	◎
		3.4 通関口 (POE)		○	◎
		3.5 その他		○	◎
		4. 会場セキュリティスイープ		○	◎
		5. アクセスコントロール		○	◎
		6. セキュリティバックグラウンドチェック		○	
		7. トランスポートセキュリティ			
		7.1 車両のセキュリティ対策			
		i) 車両の検査手順の詳細			○
		ii) 車両の護衛			○
		iii) トラッカー			○
		iv) 認定ドライバー			○
		7.2 市内の交通管理計画			○
		8. ポリシーと手順			
		i) スクリーニングポリシー		○	◎
		ii) 持込禁止物品		○	◎
		iii) 禁止行為		○	◎
		iv) 遵守行為		○	◎
		v) アドミッションポリシーの拒否		○	◎
		vi) FOP の侵入ポリシー		○	◎
		vii) 会場再入場ポリシー		○	◎
		viii) アンブッシュマーケティングポリシー		○	◎
		9. 付録			
		9.1 ポリシーと手順			
		9.2 マップ			
		9.3 その他			

(2) 警備業務の実施

ア 警備本部の設置及び運営

国立競技場内に、警備にかかる情報を集約し、委託者や関係機関との連絡調整を行うとともに、配置要員等に対して指揮命令を行う警備本部を設置すること。本部設置・運営にかかる費用は、受託者の負担とすること。

警備隊長・警備副隊長等が委託者等と警備本部に常駐し、警備の実施にかかる情報を集約すること。集約した情報をもとに、円滑な警備実施に向け、備品の設置管理・配置要員への指示を行い、委託者による世界陸上財団別部署、警察・消防、交通事業者、自治体等関係機関との連絡調整を補助すること。

イ 自主警備の実施

委託者と連携し、次の自主警備を実施すること。

- (ア) 公式会場等内における秩序の維持、犯罪の防止
- (イ) 公式会場等内における火災の予防、防災対応
- (ウ) 公式会場等内における雑踏事故の防止
- (エ) 公式会場等及びその周辺における交通・雑踏事故の防止
- (オ) 上記事案発生時の被害拡大防止
- (カ) 施設運営及び人身の安全確保を目的として、あらかじめ設定されたクリーンエリアとダーティエリアの境界線（以下、「セキュアペリメーター」という。）を維持するため、セキュアペリメーター内へ入場する来場者へのスクリーニング
- (キ) 上記同様に関係車両や搬入物品等のスクリーニング
- (ク) 会場及びその周辺の車両及び歩行者の整理・誘導
- (ケ) 事案防止を目的としたパトロール
- (コ) 公式会場等内における「防犯・防災」警報対応
- (サ) バンプイン・バンプアウト期間中の競技会場等への来場者及び車両の入場管理
- (シ) その他、緊急事態発生時の初動対応

(3) 関係官公庁その他への手続

ア 受託者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続が必要な場合は、速やかに行うものとする。

イ 受託者が関係官公庁等から調整を受けたときは、遅滞なくその旨を委託者に報告し、協議するものとする。

(4) 報告の方法、頻度及び時期に関する事項

ア 受託者は委託者に対して、毎日の警備実施状況を、書面により報告するものとする。

イ 事故発生時の際には、受託者は委託者に対して、直ちに電話または口頭で報告するとともに、後刻書面又は電磁的記録をもって報告するものとする。

(5) 報告書の作成

「13 提出物及び納期」に定める日までに警備実施報告書を作成し、委託者に

提出すること。

10 警備業務（警備業務に付随する業務を含む。以下同じ。）に従事させる警備員等の配置数及び担当業務

（1）警備員の配置及び担当業務

「6 貸与物」を参考に、受託者が作成した配置計画に基づき、警備員を配置する。配置する警備員には、業務実施前に十分な教育・訓練を施し、業務の趣旨、業務内容等を十分に理解させること。警備上重要と考えられるポストには、次のとおり、豊富な実務経験及び能力を有する警備員を充てること。

会場 (配置場所)	ポジション	ポスト 配置数	役職	配置期間
国立競技場	統括責任者	1 以上	警備隊長	令和 7 年 9 月 10 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
	副責任者	1 以上	警備副隊長	
	場内警戒	1 以上	エリア責任者	令和 7 年 8 月 12 日から 令和 7 年 9 月 27 日まで
		1 以上	警備員	
	各 PSA※	1 以上	エリア責任者	令和 7 年 9 月 10 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
		1 以上	警備員	
	各 VSA※	1 以上	エリア責任者	
		1 以上	警備員	
	VSCC※	1 以上	責任者	
		1 以上	警備員	
	遊撃	1 以上	警備員	
	ラストマイル	1 以上	エリア責任者	令和 7 年 9 月 13 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
		1 以上	警備員	
	メダルプラザ	1 以上	エリア責任者	令和 7 年 9 月 14 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
		1 以上	警備員	
東京体育館	会場統括責任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 8 月 27 日から 令和 7 年 9 月 27 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	
代々木公園 陸上競技場	会場統括責任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 9 月 12 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	
	PSA	1 以上	エリア責任者	令和 7 年 9 月 12 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
		1 以上	警備員	

代々木公園 陸上競技場	VSA	1 以上	警備員	令和 7 年 9 月 13 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
東京大学陸 上競技場	会場統括責 任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 9 月 8 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	
	PSA	1 以上	エリア責任者	
		1 以上	警備員	
	VSA	1 以上	警備員	令和 7 年 9 月 13 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
大井ふ頭中 央海浜公園 陸上競技場	会場統括責 任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 9 月 8 日から 令和 7 年 9 月 20 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	
	PSA	1 以上	エリア責任者	
		1 以上	警備員	
総会会場 (調整中)	会場統括責 任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 9 月 11 日から 令和 7 年 9 月 12 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	
明治公園	会場統括責 任者	1 以上	会場責任者	令和 7 年 9 月 13 日から 令和 7 年 9 月 21 日まで
	会場警戒	1 以上	警備員	

※ 会場（配置場所）、ポジション、配置期間等については調整中のものがある。また、都合により変更が生じる可能性がある。変更の際には、別途協議の上、決定する。
各ポジションの勤務時間についても、別途協議の上、決定する。

※ PSA：セキュアペリメーター内へ入場する来場者へのスクリーニングエリア

VSA：セキュアペリメーター内へ入場する関係車両のスクリーニングエリア

VSCC：警備本部

(2) 警備員名簿の整備

警備員の氏名、生年月日、性別、警備員指導教育責任者、検定規則に基づく資格及び実務経験等を記載した警備員名簿（資格取得者は、その証明書の写しを添付すること。）を法の定めに基づき、予め備えておくこと。

また、委託者は必要に応じて、当該名簿の提出を求めることができる。

(3) 警備業務に従事させる警備員が有する知識及び技能

ア 警備業法で定める法定教育を受講している者が本契約に定める警備業務に従事するものとする。

イ 検定合格警備員の配置は警備業法の定めるところにより行うものとする。

(4) 身分証（アクレディテーションカード）の所持

受託者は、原則として委託者の発行する身分証（アクレディテーションカード）を業務従事中常に携帯するものとする。

1 1 警備業務を実施するために使用する機器又は各種資機材

受託者は、下記の機器・各種資機材を必要に応じて用意して使用するものとする。

- (1) 連絡用の無線装置、または携帯電話・スマートフォン等の通信機器等
- (2) 危険物発見用の金属探知機、X線検査装置、点検鏡（インスペクションミラー）等
- (3) 交通整理、雑踏整理のための交通誘導用資器材、携帯用拡声器等
- (4) 警備業務遂行に伴う警備員等の熱中症予防その他の安全衛生を確保するための対策資機材一式等
- (5) その他受託者が必要と認める資機材

1 2 納入成果物等

(1) 納入成果物等

ア 警備運用計画（バージョン3）（日本語版、英語版）	各2部
イ 警備員等配置計画	2部
ウ 稼働表	2部
エ 警備業務マニュアル	2部
オ 防犯設備等の配置計画	2部
カ 緊急時対応マニュアル	2部
キ セキュリティスイープマニュアル	2部
ク アからキを記録した電子記録媒体	1部
ケ 警備業務実施報告書	2部
コ ケを記録した電子記録媒体	1部

納入成果物は、調査項目・検討内容の結果について、委託者と十分協議を行い、双方で合意を得た時点での内容を取りまとめて作成する。

なお、警備運用計画書は日本語版及び英語版を作成し、それぞれ印刷製本のもの10部及び電子データ（電子記録媒体に記録したもの。ファイル形式はPDF、ワード、エクセル又は、パワーポイントとする。）とする。用紙及び記録媒体等は受託者が準備すること。編集方法は委託者と別途協議の上決定すること。

(2) 納入期限

- (1) のアからクまで 令和7年6月30日
- (1) のケ及びコ 令和7年10月31日

(3) 納入場所

〒160-0013

1.3 留意事項

(1) 資料の整理

- ア 受託者は、成果物の作成に際し、第三者の著作権等に抵触する場合、責任をもって適正に処理すること（費用を含む。）。
- イ 本委託により得られたデータ等の使用・保存・処分には細心の注意をもって当たり、外部に情報が漏洩することのないよう万全の体制を講ずること。
- ウ 受託者は、業務に必要な資料を自らの費用で備えるものとする。ただし、委託者は、必要と思われる図書及び他関係資料を受託者に貸与することができる。
- エ 受託者は、委託者から資料の貸与を受けた場合には、善良な管理者の注意をもって当該資料を取り扱わなければならない。万一、紛失又は損傷した場合には、受託者の責任と費用において代品を収め又は原状を復し返還し、若しくはこれに代えてその損害を賠償しなければならない。
- オ 委託者以外の第三者から資料の貸与を受ける場合も、同様に適正に管理を行うこと。

(2) 別契約との連携

委託の履行に当たっては、関連委託の受注者と相互に協力し、工程及び検討事項、取りまとめの方向性等について、十分調整を図り、本業務及び関連委託の遂行上、支障のないようにすること。

(3) 警備業務対象施設の鍵の管理

受託者は、委託者が受託者に預託した鍵（以下「預託鍵」という。）を善良なる注意をもって取り扱い、保管する。

なお、受託者は、再委託先業者に預託鍵を利用させることができる。

(4) 公租公課等

本契約履行過程で生じる公租公課、その一切の費用は、受託者が負担すること。

(5) 調査機器等

必要な調査機器等は、受託者がその経費を負担して用意すること。

(6) 実査に係る公式会場等との調整

実査に係る公式会場等との調整は、委託者の了解を得て行うこと。

(7) 土地の立ち入り等

受託者は、実査業務等を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、業務が円滑に進捗するように努めなければならない。

なお、やむを得ない理由により、現地への立入りが不可能となった場合、あるいは地元関係者から業務の実施に関して苦情があった場合には、直ちに委託者に報告し、協議しなければならない。

(8) パートナーの優先供給権

受託者は、委託業務の実施に当たり、大会の大会パートナーに優先供給権が認められた製品・サービスを調達する際には、当該パートナーの優先供給権に従うものとする。また、大会のパートナー以外の第三者から製品又はサービスの供給を受ける場合には、当該第三者の製品又はサービスのブランドが分からない形で使用する。

1 4 警備業務の対価等の支払時期及び方法

本委託料の支払いは、警備業務報告書の提出後、業務が完了したことを確認し、受託者の請求に基づき支払うものとする。

1 5 著作権

受託者は受託業務に係る成果物等の全ての著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。)を委託者に無償で譲渡するものとし、著作者人格権に基づく権利行使を行わないこととする。

また、受託者は成果物等に係る全てについて、委託者の承諾を得ずに第三者に公表、貸与及び使用させてはならない。

1 6 情報セキュリティ

電子情報の取扱いに関して、受託者は、公益財団法人東京 2025 世界陸上財団サイバーセキュリティ基本方針に記載がある水準での情報セキュリティを確保しなければならない。

なお、受託者が情報セキュリティを確保することができなかったことにより委託者が被害を被った場合には、委託者は受託者に損害賠償を請求することができる。委託者が請求する損害賠償額は、委託者が実際に被った損害額とする。

1 7 秘密の保持

受託者は、本契約締結の事実並びに本契約の諸条件に従った業務の遂行、その他契約上の債務の履行に関して委託者から受領し、又は、その他の方法により知り得た一切の事実又は情報について、委託者が事実を承諾しない限り、何人に対してもその内容を一切公開せず、また開示もしないこと。

受託者は、業務遂行を通じ知り得た一切の事実又は情報を、本契約以外の目的には使しないこと。

ただし、その事実又は情報を既に適法に知っていたか、若しくは公知の事実となったもの、又は法令の適用により若しくは官公署、裁判出頭命令、指導、通達等により提出する事実については、この限りではない。また、受託者は知り得たすべての情報(公表された情報は除く。)は、本契約の物品検査終了後、適切かつ速やかに破棄することとする。

なお、受託者が秘密保持義務に違反し、委託者が損害を被った場合、受託者は、その損害の補償をすること。

1 8 個人情報の取扱い

委託者が貸与する資料に記載された個人情報及び業務に関して知り得た個人情報は全て委託者の保有個人情報であり、委託者の許可なく複写、複製又は第三者へ提供してはならない。委託期間の満了後は、東京都保有個人情報が記載された資料(電子媒体に記録されたものを含む。)を委託者に返却するものとする。

1 9 一括再委託の禁止

- (1) 受託者は、本業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託してはならない。ただしあらかじめ書面により委託者の承諾を得た場合は、この限りでない。
- (2) この仕様書に定める事項については、受託者と同様に、再委託先においても遵守するものとし、受託者は、再委託先がこれを遵守することに関して、一切の責任を負う。
- (3) 本業務の再委託先である協力会社は、東京都の競争入札参加資格者である場合、指名停止期間中及び排除措置中であってはならない。
- (4) 受託者は、簡易な業務を再委託する場合、委託者の承諾を必要としない。
- (5) 受託者は、(4)に規定する業務以外を再委託する場合、委託者の承諾を得るものとする。
- (6) 受託者は、本業務を再委託する場合、書面により協力会社との契約関係を明確にするものとする。また、協力会社に対し業務の実施について適切な指導、管理をするものとする。
- (7) 受託者は、(6)に規定する業務を再委託する場合は、協力会社の業務執行体制、経歴等の概要を委託者に提出しなければならない。

2 0 契約変更等

(1) 契約変更

本委託着手後に条件が大きく異なった場合等には、関係資料を作成し、委託者及び受託者の双方協議の上、対応すること。

(2) 軽微な変更

本業務の実施に当たり、業務に重大な影響のない軽微な変更は、委託者と協議のうえ施行するものとする。ただし、この場合の変更は、契約金額を増減しないものとする。

2 1 環境により良い自動車利用

本契約の履行に当たって、自動車を使用し、又は利用する場合には、次の事項を遵守すること。

- (1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第215号)第

37 条の規定に基づき、ディーゼル車規制に適合する自動車であること。

- (2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成 4 年法律第 70 号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。

なお、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質現象装置証明書等の提示又は写しの提出を求められた場合には、速やかに提示又は提出すること。

2 2 東京都契約関係暴力団等対策措置要綱

受託に当たり、暴力団等から不当介入を受けた場合（再受託者が暴力団等から不当介入を受けた場合を含む。）は、東京都契約関係暴力団等対策措置要綱に基づき、委託者への報告並びに警視庁管轄警察署への通報及び、捜査上必要な協力をする事。

2 3 法令等の順守

受託者は、当該調査に関する諸法令を遵守し、調査の円滑な進捗を図らなければならない。

2 4 その他

本仕様書に定めのない事項については、委託者と受託者が協議の上、定めるものとする。

2 5 担当・連絡先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan SPORTS Olympic Square 5 階

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団

業務室警備部警備課

別表 公式会場等

区分	名称・住所	開始日	終了日
競技会場	国立競技場 新宿区霞ヶ丘町 10-1	令和 7 / 8 / 12	令和 7 / 9 / 27
大会関連会場	東京体育館 渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1	令和 7 / 8 / 27	令和 7 / 9 / 27
ウォームアップ会場	代々木公園陸上競技場 渋谷区神南 2-3-1	令和 7 / 9 / 12	令和 7 / 9 / 21

練習会場	大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場 品川区八潮 4-1-19	令和 7 /9/8	令和 7 /9/20
ウォームアップ会場 練習会場	東京大学陸上競技場 目黒区駒場 3-8-1	令和 7 /9/8	令和 7 /9/21
総会会場	東京国際フォーラム 千代田区丸の内 3-5-1	令和 7 /9/11	令和 7 /9/12
大会関連会場 東京都運営拠点	(明治公園・メダルプラザ) 東京都新宿区霞ヶ丘町内	令和 7 /9/13	令和 7 /9/21

※競技会場の駅周辺及び歩行者動線については、上記公式会場等を含む。

なお、公式会場等の詳細については、契約締結後に委託者から受託者へ別途指示する。